

【将来像】 スマートシティ都留

環境保全や健全な行財政を堅持した賢い成長「スマートグロース」を通じて、次の目指すべき地域社会像を具現化したまち

個性輝く創造社会

地域の持つ独自性の強い価値を見出し、その価値を発展させながら、他の地域のマネでない、創造力を発揮した「オンリーワン」を指向するまちづくりに挑戦するものであり、厳しい経済環境の中にあっても、地域活力を高めるとともに、誰にでもチャンスが平等に与えられ、人々の自立を後押しし、住むことに誇りと、自信が持てる個性的で魅力的な地域社会。

互恵・共生社会

すべての人々が、人生各期において、自己実現を図る努力を重ねながら、その身に付けた個性と能力を生かして、様々な立場や違いを超え、共に認め合い、助け合い、支え合うことにより、生きがいや働きがいを持って、共に生きていくことが可能な地域社会。

持続可能な定常社会

少子・高齢社会の到来、さらには、化石燃料の枯渇や地球温暖化問題など資源や自然環境の有限性が叫ばれる中、経済活動と環境保全を両立させ、人と環境が持続的に共生し、安全で安心して暮らし続けることができる地域社会。

「スマート」の意味

身なりが整って粋なさま、気の利いたさまをいうほか、賢い、あるいは、洗練されたという意味を持っています。英語の語源には「痛み」を意味する用法もあります。

「スマートグロース」

米国の都市開発の潮流においては、都市の無秩序な拡大を抑制し、持続可能で、人と人とのふれあいのあるまちづくりを目指した取り組みをスマートグロース(賢い成長)と称しています。その中では健全な都市のあり方は、①経済的活力に満ち、②良質な環境が保全され、③コミュニティが快適で暮らしやすいまちとされています。

「スマートシティ」

「スマートグロース」の考え方は、本市が目指すべき地域社会像としている①「個性輝く創造社会」、②「持続可能な定常社会」、③「互恵・共生社会」に相通じるものがあることから、これら3つの社会像を総称するキーワードとして「スマートシティ」と命名しました。

「スマート」であるためには、キラリと光る個性を発揮すると同時に、自立のための「痛み」も覚悟しなければなりません。「スマートシティ」とは、弛まぬ行革を行いながら、量的な成長から質的な向上への転換を目指す都市を指す言葉と考えています。

まちづくりの方向

1. 「教育首都つる」を目指したまちづくり
2. 個性あふれる地域産業を育むまちづくり
3. 人と自然が共生する環境のまちづくり
4. あらゆる主体が参画し、協働するまちづくり
5. 健康ではつらつと暮らせるまちづくり
6. 人権を尊重し、互いに支え合う福祉のまちづくり
7. 安全・安心に暮らせるまちづくり
8. 行財政改革の推進